

# 議会だより

<http://gikai.city.mitoyo.lg.jp/>

議会報告会

5月14日～27日開催  
(詳しくは2・3ページ)

8  
2018年  
月号

No.27

6月定例会

② 議会報告会

④ 議案報告

⑤ 審議結果

⑥ 一般質問

⑩ 常任委員会

⑪ 議員研修会

⑫ 学校紹介

📷 津島神社



**速報**

皆さまの貴重なご意見、ありがとうございました

## 議会報告会



今年も市内26カ所で

議会報告会 開催

5月14日から5月27日までの14日間にわたり、今年も市内26カ所で、三豊市議会報告会を開催しました。

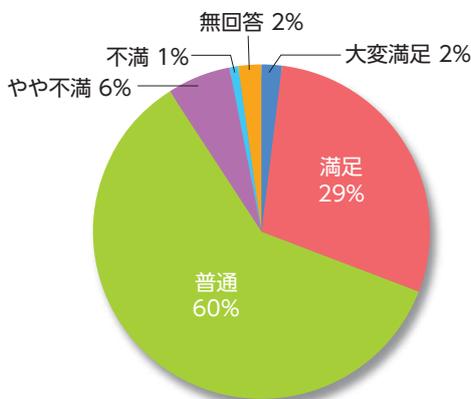
報告会では、常任委員会ごとに、主に、3月議会で審議した30年度予算について報告をした後、参加者の皆さまからのご質問やご意見を伺いました。

たくさんのご意見をありがとうございました。

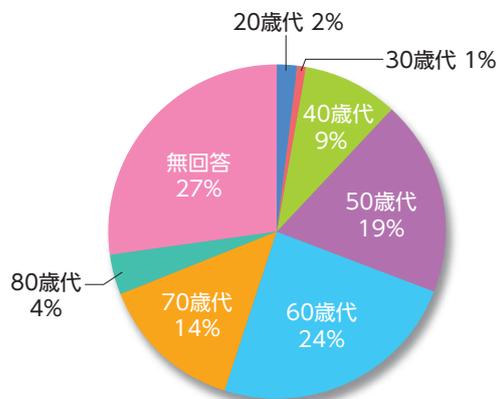
当日、回答ができなかった質問については、所管の委員会ごとに調査をし、「議会だより」や「議会ホームページ」に掲載させていただきます。

会場での質疑や、いただいたアンケートの結果など、次号、議会報告会臨時号にて、詳しくお知らせいたします。

議会報告会は、三豊市議会基本条例の大きな柱である「市民に開かれた議会」を目指し、平成25年から取り組んでおり、平成28年からは、会場を市内26カ所に増やした現在のスタイルで開催しています。



報告会全体としての満足度は?



年齢層について



アンケートの結果より



議員が5チームに分かれ、各会場を回りました



## 議会報告会 実施状況 421人の皆様にご参加いただきました

町	地区	開催日	場 所	参加者数	出席議員
高瀬町 15,340人	上高瀬	5月17日(木)	上高瀬公民館	24	三木 秀樹
	勝間	5月16日(水)	勝間公民館	10	岩田 秀樹
	比地	5月27日(日)	比地二公民館	14	丸戸 研二
	二ノ宮	5月15日(火)	二ノ宮公民館	14	高木 修
	麻	5月18日(金)	麻公民館	11	
山本町 6,855人	辻	5月21日(月)	辻公民館	18	為広 員史
	河内	5月23日(水)	河内農村婦人の家	13	城中 利文
	大野	5月24日(木)	財田大野農業構造改善センター	60	坂口 晃一
	神田	5月25日(金)	神田定住促進センター	12	込山 文吉 水本真奈美
三野町 9,490人	大見	5月15日(火)	大見公民館	15	三宅 静雄
	下高瀬	5月14日(月)	三野町社会福祉センター	10	西山 彰人
	吉津	5月16日(水)	吉津公民館	20	浜口 恭行 湯口 新
豊中町 11,429人	桑山	5月18日(金)	豊中町公民館桑山分館	16	横山 強
	比地大	5月23日(水)	豊中町公民館比地大分館	18	金子 辰男
	笠田	5月14日(月)	豊中町公民館笠田分館	18	市川 洋介
	上高野	5月16日(水)	上高野文化センター	14	近藤 武
	本山	5月21日(月)	豊中町公民館本山分館	8	
詫間町 13,516人	松崎	5月15日(火)	松崎コミュニティセンター	10	瀧本 文子
	詫間	5月14日(月)	マリンウェーブ	14	川北 善伴
	大浜	5月21日(月)	荘内浦島出張所	12	石井 勢三
	箱	5月24日(木)	箱浦ビジターハウス	16	田中 達也
	栗島	5月19日(土)	栗島総合開発センター	20	
仁尾町 5,920人	仁尾	5月22日(火)	仁尾町文化会館	28	三宅 静雄
	曾保	5月21日(月)	曾保小学校体育館	9	西山 彰人 浜口 恭行 湯口 新
財田町 3,942人	財田上	5月27日(日)	黒川公民館	6	為広 員史
	財田中	5月26日(土)	財田B&G海洋センター	11	城中 利文 坂口 晃一 込山 文吉 水本真奈美

※人口は、H30.3.1現在の住民基本台帳人口。



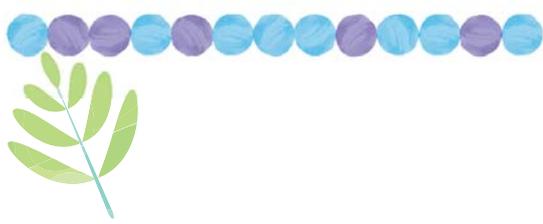


## 平成30年度 6月補正予算

一般会計 15億 531万8千円 増  
総額323億4,531万8千円

介護保険事業特別会計 45万4千円 増  
総額78億2,745万4千円

集落排水事業特別会計 642万8千円 増  
総額1億9,542万8千円



## 平成30年 第2回 定例会の概要

【会期 6月8日～27日】



今定例会では次のことが決まりました。

- 専決処分の承認 3件承認
- 平成30年度補正予算 3件可決
- 条例に関する議案 7件可決
- その他市長提出議案 2件可決
- 議員提出議案 1件可決

この中から、議案をピックアップして、ご紹介します。

### 補正予算から

● **集落排水事業特別会計**  
歳入については、一般会計繰入金を642万8千円増額するもの。歳出については、工事請負費を642万8千円増額するもの。

### 条例の一部改正

● **災害対策本部条例の一部改正**  
市災害対策本部が設置された際の支所災害対策本部長について、災害対策を的確かつ確実に実施できるようにするため。

● **父母ヶ浜海水浴場施設条例の一部改正**  
父母ヶ浜海水浴場施設について、隣接する市有地を当該施設に加えるため。

● **火葬場条例の一部改正**  
現在、建設中の三豊市北部火葬場の供用開始を平成30年9月1日としており、また、三豊市北部火葬場の供用開始に伴い三豊市高瀬火葬場を廃止するため。

● **ひとり親家庭等医療費支給に関する条例の一部改正**  
母子および寡婦福祉法が改正されたことに伴い、ひとり

親家庭等医療費支給に関する条例を改正する必要性が生じたため。

● **特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正**  
就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の一部改正に伴う内閣府令の改正に準じ、引用条項を改めるため。

● **後期高齢者医療に関する条例の一部改正**  
高齢者の医療の確保に関する法律の一部改正され、住所地特例の取扱いが見直されたことに伴い、所要の改正をするため。

### 議員提出議案

● **特別委員会の設置について**  
期間 平成30年6月27日から調査終了まで、閉会中も調査することができ。

【市立病院建設調査特別委員会】  
**所管事項**  
三豊市立永康病院の建て替えおよび今後の市立病院の役割、運営方法ならびに医療確保に関する調査研究

**委員長** 三木秀樹

**副委員長** 水本真奈美  
**委員** 城中利文、川北善伴、坂口晃一、岩田秀樹、三宅静雄、瀧本文子、金子辰男、石井勢三、田中達也

【三豊市第2次総合計画調査特別委員会】  
**所管事項**  
三豊市第2次総合計画策定に関する調査研究

**委員長** 丸戸研一  
**副委員長** 浜口恭行  
**委員** 議長を除く21人

### 永年勤続表彰

町議会議員歴の2分の1を勤続年数に通算  
**全国市議会議長会表彰**

◆ **一般表彰**  
15年以上議員表彰  
鴨田 偕  
三木 秀樹  
城中 利文

◆ **一般表彰**  
3年以上正副議長表彰  
城中 利文

◆ **一般表彰**  
8年以上議員表彰  
西山 彰人  
浜口 恭行

■ 全会一致の議案

議案名等	議決結果
専決処分の承認を求めることについて（税条例の一部改正）	原案承認
専決処分の承認を求めることについて（支払遅延に係る損害賠償の額の決定）	原案承認
平成30年度一般会計補正予算（第1号）	原案可決
平成30年度介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
平成30年度集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
災害対策本部条例の一部改正について	原案可決
父母ヶ浜海水浴場施設条例の一部改正について	原案可決
税条例等の一部改正について	原案可決
火葬場条例の一部改正について	原案可決
ひとり親家庭等医療費支給に関する条例の一部改正について	原案可決
特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
工事請負契約の締結について	原案可決
市道の路線変更について	原案可決
後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	原案可決
特別委員会の設置について	原案可決

■ 賛否が分かれた議案

議案名等	議員名																						議決結果
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
専決処分の承認を求めることについて （国民健康保険税条例の一部改正）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	原案承認 (賛20、反1)

※○：賛成 ●：反対 欠：欠席 退：退席 除：除斥 ※議長は可否同数の場合のみ表決権があります。（議長 13番 詫間 政司）



視察に来て  
くださいました

- 4月25日 東京都東大和市議会 建設環境委員会（トンネルコンポスト事業について）  
※トンネルコンポスト…微生物の力で燃やせるごみをエネルギーにリサイクルする施設
- 4月26日 茨城県日立市議会 会派公明党（学校ICT整備事業の取り組みについて）
- 5月1日 丸亀市議会議員（学校におけるフッ素洗口について）
- 6月28日 善通寺市議会 総務常任委員会（ペーパーレス議会システムについて）

6月										5月					4月				議 会 日 誌							
27日	25日	21日	20日	19日	14日	13日	8日	5日	1日	30日	29日	28日	25日	24日	22日	17日	14日	9日		8日	7日	2日	26日	24日	23日	17日
議会運営委員会 定例会	議会広報委員会 定例会	議会広報委員会 定例会	議会広報委員会 定例会	議会広報委員会 定例会	議会広報委員会 定例会	議会広報委員会 定例会	議会広報委員会 定例会	議会広報委員会 定例会																		

横山 強 議員



## 公有財産処分等について

**問** 今後、公有財産処分、譲渡の在り方を伺う。

**答** 市が保有している行政目的の終了した建物や土地等財産処分については、今年3月議会において、無償譲渡並びに減額譲渡の2議案の撤回に関しては、プロポーザルを進める中で、議会に対する事前説明が十分でなかったところであり、所管の委員会、議会にご迷惑をかけた。提案型の公募の財産処分に関するガイドラインを策定し、より慎重に事業を進めるよう指示した。今後とも公共施設の再編整備関連事業については、議会とともに進めていかなければならない大きな仕事であると考えている。本日に市の財政にかかわる重要な案件であり、その意味で、具体的な処分手続きは、議会、市民に十分説明した上で検討したい。

**問** 公有財産処分等に関する指針、ガイドラインの策定等の時期は。

**答** 現在、本市は提案公募型の財産処分に係るガイドラインを早期に策定すべく検討を重ねている。価格の有利性の犠牲度合い、議

会に対して適時、適切なタイミングで事前協議し、市民の財産を不当に処分はしない。

**問** 公有財産処分に関するプロポーザルは、市民の財産に不利益にならないか、を伺う。

**答** プロポーザル方式を採用するか否かなどに関しては、今回の経験を踏まえて慎重に進めたい。

※プロポーザル方式：複数の者に目的物に対する企画を提案してもらい、その中から優れた提案を行った者を選定すること。

**問** 公有財産処分、無償・価格の低いプロポーザルの見直しを伺う。

**答** 取り扱い物件によって内容が変わることから、その都度議会に事前説明を行う中で、しっかりと協議させていただきたい。

**問** 市の空き施設・更地等、今後の公有財産処分の計画を伺う。

**答** 今後の財産処分計画に関して、これから出てくる公共施設の老朽化と跡地問題は、議会とともに考え、進めていく大きな課題。



西山 彰人 議員



## 市役所施設の耐震状況について

**問** 耐震のできていない施設とそ利用者数、特に、支所の状況を伺う。

**答** 旧耐震基準の公共施設は137件で、うち93件が非耐震である。6支所のうちでは、詫間支所だけが非耐震となっている。また、永康病院も非耐震である。平成29年の各支所の戸籍・住民基本台帳関係事務処理から見た人数は左記のとおりとなっている。

高瀬本庁	74,026人
山本支所	7,230人
三野支所	8,164人
豊中支所	11,786人
詫間支所	14,541人
仁尾支所	5,947人
財田支所	3,982人
(相談業務含まず)	

詫間庁舎周辺施設については、讃岐造船所跡地を含めて速やかに対応する。



▲唯一、耐震化されていない詫間支所

**問** 地震時に被害が予測されるが、市に責任があるのでは。

**答** 市が責任を負う。早急に対応する。

## 緊急時の医療体制について

**問** 救急車を要請し、病院到着までの時間に大きな差があるが、時間地図を作って、差をなくせないか。

**答** 医療機関までの時間を公平に近づけることは大切、病院搬送までの時間を表示し、「見える化」することは重要と考える。時間地図作成は三観広域消防本部と連携し検討する。永康病院の建て替え検討時に提供できるよう取り組む。

## 永康病院の再建について

**問** 病院の再建は、少しでも安く、使い勝手の良い建物を建ててほしい。医師や職員に少しでも予算を回せば、経営もうまくいくと思う。

**答** 議会特別委員会からも、ローコスト建築を目指すべきとの提案を受けている。安く利用しやすい病院建設を目指す。

## 讃岐造船所跡地について

**問** 現状と完成時期について。また、港まつり時の利用について伺う。決まるまで公園化してはどうか。

**答** 計画段階なので待つてほしい。安全を考えると、祭りの利用は困難。

田中達也 議員



事業承継支援策について

**問** 従来は9割以上の中小企業が親族に事業を引き継いでいたが、現在では4割以下と言われている。これを受けて「第三者承継」に焦点があたっているが、今後どのように支援していくのか。

**答** 承継者の掘り起こし・育成を行うことが重要。みとよ創業塾を年2回開催しているが、本年度より創業塾受講者募集の際に、事業承継をお考えの方を対象に新たに加えることで、「承継者の掘り起こしや育成を支援できるように検討していく。」



▲みとよ創業塾

空き家バンクにおける

農地付き空き家への対応について

**問** 今年3月、国土交通省が作成した「農地付き空き家」の手引きが公開された。空き家の活用や移住促進等に向け、空き家と付

随する農地を移住者等に提供する取り組みが広がっていることを踏まえ、さらなる普及を目指してとのことだが、三豊市でも「空き家バンク」を通して取り組むべきではないか。

**答** 所有者からの希望があれば、敷地外の農地を合わせて空き家バンクの情報として発信している。田園回帰志向を持つ移住希望者の獲得に向け、先行する自治体や他の自治体との差別化を図れる施策について、担当課との協議を行いながら検討していく。

高齢者の運転免許証自主返納支援について

**問** 高齢化に伴い、高齢運転者の問題が増加している。代替交通手段、都市計画、意識改革など複合的に取り組まなければ解決は難しいと考える。今後の対応を問う。

**答** 市が取り組む免許証自主返納支援、コミュニティバスおよび福祉タクシー事業について、おの個別に取り組むのではなく、代替交通手段、自動車依存型の生活環境の改善、運転者の意識改革など、複合的に取り組むものでなければならぬ。今後の高齢者に対する交通支援策の取り組み方針について、現在策定中の次期総合計画にいかん盛り込んでいくべきか、今後検討していきたい。

石井勢三 議員



三豊市公共施設再配置計画において、今後の構想を問う

**問** 公共施設再配置計画は、今後三豊市の大きな課題の一つである。耐震化基準に達していない施設、目的終了施設、今後の方向性のガイドラインを含め構想を問う。また、三野地区の再配置についての考えを問う。



▲取り壊し予定の三野町文化センター

**答** 公共施設等総合管理計画に基づき進める。必要な機能はできるだけ維持しながら、公共施設の総量を減らし、持続可能な行政サービスを実現するという目標を立てている。三野町文化センターおよび三野町ふれあいセンターの機能は、安全性を確保するため、市民センター三野や三野町社会福祉センターへ移

転し、図書館については、図書館再編基本構想および図書館基本計画に基づき、三野町図書館のあり方を検討する。文化協会、同好会等の団体の活動場所は、周辺の公共施設に移転することで、利用者の安全性を確保し、サービスを維持する。

三豊市内のWi-Fiの現状と今後の計画について

**問** 今やWi-Fi整備は、社会の通信手段として必要不可欠な事業。民間においても、ますます整備が進んでいる中、わが三豊市でのWi-Fi整備の現状および今後の計画を問う。

**答** スマートフォンの普及や訪日観光スポット、飲食店など、無料で利用できるサービスが増えてきている。県の間接補助金等で整備し、三豊市内無料Wi-Fiスポット数は、平成30年3月末現在で71カ所となる。小中学校の環境整備も昨年実施、また、父母ヶ浜や紫雲出山を中心に今後一層の観光来訪者が見込める中、情報収集ツールとして活用し、地域活性化につなげられるよう整備、検討する。市内全体の公共施設でどのようなWi-Fi環境整備がいいのか、総合的に考えていきたい。

丸戸 研二 議員



## 三豊市第2次総合計画について

**問** 向こう10年間の三豊市をどう見ているのか。

**答** 人口減少問題など、これまでの10年間とは比較にならないほど厳しく険しいものになると考えている。

**問** 何を守りどう攻めるのか。

**答** 各地域で培われてきた歴史、文化、コミュニティーなどを守り、市民の安全・安心、子育て支援、福祉・医療、最先端技術を活用した産業支援などにチャレンジしたい。

**問** 市長の政治姿勢をどう展開するか。

**答** 自ら限界をつくらないという意味で、まずはさまざま可能性への基盤をつくりたい。

## 消防屯所機能の充実について

**問** 災害の大規模化により、団員の活動拠点として、消防屯所の機能充実が急務である。しかしながら、積載車の車庫だけの屯所、トイレが整備されていない屯所、団員詰所が無かったり狭い屯所がある。計画的かつ早急に整備に取り組む必

要があるのではないかと。

**答** 消防力の低下を防ぐため、分団の再編と併せて建て替え基準を見直し、可能な限り前倒しで整備に着手したい。



▲初めて行われた土砂災害対策訓練

## 災害に強い里山機能について

**問** 県、市河川の上流部にある水路等の災害復旧工事、防災上の整備は、市負担で対応すべきでないか。

**答** 市で管理する義務もあると認識しており、災害復旧などについて、対応ルールの検討を行っている。

**問** 竹林の荒廃化に起因する土砂災害を防止するため、三豊市独自の里山再生事業に取り組む必要がありはしないか。

**答** 安全な里山を次世代に引き継ぐことは私たちの責務である。あらゆる事業化を図っていく。

## その他の質問

○防災意識のさらなる普及について

浜口 恭行 議員



## 地域と大学との連携について

**問** 近年、大学生や教員が地域の現場に入って地域の課題解決や地域づくりに取り組む「域学連携」という事業が増加している。本市ではどう取り組んでいくのか。

**答** 本市では、平成21年から香川高専と連携・協力、また平成22年からは香川大学および四国学院大学と包括連携・協力という形での学官連携に取り組んでいる。このような取り組みを持続的に実施することで地域の活性化にもつながるものであると考えており、引き続き地域の大学に対して連携・協力を深めていきたい。

**問** 大学生などが在学中に一定期間企業で就業体験を積む実習制度「地域インターンシップ」から、就職採用にもつながるようなシステムづくりができないか。

**答** 企業の人材確保を支援するため、企業間同士で連携を図りながらインターンシップ制度を進めていく連携企業体のような協議会組織の設立をしたい。今後は「域学連携」も含めて企業と行政の役割を明確にしながら、地域全体で若者の就職促進へとつなげていくために、市

内企業に対し情報発信と連携を強めていきたい。

## 都市公園の管理全般と遊具について

**問** 最近の、特に都市公園においては、遊具などが更新されなかったり、撤去されたままになっているとの指摘がある。問題のある施設や遊具は今後どうしていくのか。

**答** 多くの都市公園が設置から30年以上経過し、施設や遊具の撤去・更新を行う時期を迎えている。老朽化した遊具については、公園ごとに地域の実情や利用頻度、費用対効果などを考慮しながら、随時更新・撤去を進めていくが、今後も公園管理者として利用者の安全性の確保を第一に考えながら、設置されている施設および遊具の維持管理に努めていきたい。



▲遊具が撤去された金坂公園(仁尾町)

市川 洋介 議員



**労働者不足における政府の外国人  
在留資格検討に伴う今後の三豊市  
の施策とA-I活用事業者を応援す  
る施策について**

**問** 在留外国人の就労の中で、資  
格外活動と言われる方はいわ  
ゆる留学生で、週28時間の労働が認  
められている。三豊市に日本語学校  
やそれに相当する学校を創設し、外  
国人留学生を受け入れ、地元企業と  
タイアップさせることにより、労働  
力確保や企業側にも学校を支援する  
ことを考えてみることはできない  
か。

**答** 平成29年6月に香川県が国に  
対して新たな在留資格「人手  
不足分野における産業人材」の創設  
に加え、留学生の資格外活動として  
の就労の緩和についても盛り込み、  
国家戦略特区の提案を行っている。  
技能実習2号移行対象職種には冷凍  
食品会社が含まれていない。こういっ  
た市内企業からの要望、生の声を収  
集した上で本市の現状を国に伝える  
ことができるよう県と情報共有を強  
化していきたい。事業者向けのA-I  
活用の研修や講演支援については4  
月に田園都市推進課にA-I、ICT

の担当を配置し、企業が抱える課題  
の解決や業務の効率化に活用できな  
いかヒアリングを行って、課題も  
伺っている。日本語学校の立地につ  
いては本市にとっても大変有益であ  
ると考えている。民間事業者の支援  
を行って立地に向けて動いていくこ  
とについては、行政課題の大きな解  
決にもなると思うので、この点につ  
いても市で何ができるのか、行政の  
役割また民間事業者の役割、地域の  
役割、そういったものを含めて対応  
していきたいと思っている。



その他の質問

〇三豊市における防災についての今  
後の展開について

**湯口 新 議員**



**隣接自治体との観光等における  
協力的体制について**

**問** これまでの近隣自治体との協  
力的な取り組みとこれからの協  
力的体制は。

**答** 県の事業の中で取り組んでき  
た。特に観音寺市とは共に広  
域周遊観光商品の企画提案を行っ  
た。商品化には至っていない。これか  
らは看板などの受け入れ環境整備を  
含め、近隣市町との協力的体制を構築  
しながら、観光による知名度向上、  
訴求力強化、経済効果につなげる。



▲三豊市内の案内看板  
大きさの違いが気になるところ

**議会答弁への対応、  
進捗状況の可視化について**

**問** 過去の一般質問への対応状況  
をHP等で分かりやすく示せ  
ないか。

**答** 透明性の観点からも非常に有  
効な手段のため、勉強して今  
後検討していく。

**民泊に対する取り組みについて**

**問** 宿泊施設の少ないわが市は他  
の自治体に先駆けて、適切適  
法・安心安全な民泊を促進・PRし、  
宿泊して楽しめる三豊市を目指すべ  
きではないか。

**答** 市内宿泊収容人数は500人未満  
と不足している。民泊事業者  
間の連携を促し、民泊を活用した方  
策を検討する。

**問** 情報発信は。

**答** コンシェルジュ的なワンス  
トップ窓口も必要。事業者と  
ともに検討し、実現のための施策を  
行いたい。

**東京オリンピックに向けた  
取り組みについて**

**問** 3月議会答弁の検討結果は。

**答** 事後交流について具体的な動  
き・進捗はないが、ホストタ  
ウン登録について引き続き検討して  
いく。教育委員会では選手を招聘し  
た子どもたちとの交流事業を予定し  
ている。

**桃田選手の応援体制について**

**問** 復帰後、素晴らしい活躍だが  
市として応援しないのか。

**答** 後援会の組織体制も含め、市  
民の皆さまの熱い想いを集め  
て応援したい。

瀧本文子議員



## 子育て世代包括支援センターの設置

**問** 支援センターは妊娠前から出産、子育て期まで切れ目のない支援を行い、児童虐待や育児による孤立化の抑制につなげることが期待される。設置時期や保健師などの人材確保、小児科医の招聘しょうごういについて伺う。

**答** 妊産婦や子どもらが安心して健やかに生活できるように、支援に取り組みたい。31年度にセンター設置を検討しており、保健師等を専属職員として配置予定である。小児科医の体制も検討していききたい。



▲つといの広場

## 学校現場のLGBTの取り組み

**問** 人口の7・6%がLGBTといわれ学校現場では1クラス1〜2人ともいわれる。偏見や差別の目で見られ、いじめにより不登校や自殺を考える原因にもなっている。現場のきめ細かな支援、対応が

求められる。生徒が安心して相談できる場所の必要性、制服の選択や多目的トイレの設置、職員研修等の対応について伺う。

**答** 正しい知識と、差別を許さないという態度の涵養くわんようが求められる。現在のところ当事者の申し出はないが、生徒の悩みや不安を丁寧に聞きとる環境づくりに努めたい。中学生の制服選択やトイレ問題等、生徒が安心して活動できる環境整備を図りたい。

## ハラスメント防止について

**問** 前財務事務次官や麻生財務大臣らのセクハラ発言には、その無知、無理解に腹立たしさとともにあきれ返る状況である。男女機会均等法においても性別にかかわらずセクハラ防止に違反すると行政処分が科される。ハラスメントは絶対許さない、という強い姿勢で臨んでもらいたい。市内企業、市役所内の対策等を伺う。

**答** 市内企業は相談窓口の設置や就業規則等での明文化を挙げているが、約半数にとどまっている。また市役所は研修や相談窓口を設置し、対策を進めている。市全体でセクハラ防止の広報・啓発の取り組みを進め、生き生きと働ける雇用環境実現に向け、取り組んでいきたい。

近藤 武議員



## 公共施設の空き部屋利活用について

**問** 三豊市の支所の主な仕事は1階でしているが、それを2階に移して、1階で若者の起業支援やベンチャー企業の誘致また住民と一体となったにぎわい空間を作ってみてはどうか。

**答** 民間利用を促進し行政財産の一部貸付を積極的に進めている。今後とも支所の空きスペースは市民センター化を進める。地域活動や民間企業などの利活用をこれまで以上に進めて施設の稼働率の向上を図る。

## 公共施設の償却、売却について

**問** 平成23年3月末の施設の総数は466施設、平成29年度3月末現在施設の総数は435施設で31施設の削減になったが少子高齢化や社会保障費の増大でさらなる公共施設の償却、売却を進めていかねばならない。入札制度やプロポーザル方式の周知活動、プロポーザルの内容の情報公開と点数の重要性をどう市民に伝えるのか。

※プロポーザル方式：複数の者に目的物に対する企画を提案してもらい、その中から優れた提案を行った者を選定すること。

**答** 売却にあたり、入札方式をとるのか随意契約とするのかは個別判断となる。随意契約で公募型プロポーザル方式を採用する場合の審査項目および配点についての市民説明は、公募要項等で明らかにするが、現在策定を進めている「提案公募型の財産処分に係るガイドライン」に沿って運用する。

**問** コーコストで公共施設の建設ができないか。公共施設の建設についての入札制度やどういった指針で大きさやデザイン、予算が決定するのか。

**答** 基本計画として、建築設計業者と対象建築物の所管課が検討しながら事業計画を定める。デザインに関しては基本計画を整理した後策定し、レイアウト、備えるべき機能や設備、内外のデザイン等について全体事業費を超えない範囲で検討する。



▲危機管理センター

金子辰男 議員



身元保証人のいない高齢者について

**問** 高齢者が介護施設に入所の際に保証人がいない場合、受け入れ拒否があると聞いたが、市内の現状や対策、成年後見人の現状を問う。

**答** 身元保証人等の署名を求めると市内施設は16カ所、連絡先があれば引き受ける施設は2カ所である。成年後見制度の活用を求められることも多い。市では、本人や親族が申し立て困難な場合、市長が行っており、昨年度の相談は49人から延べ173件あり、そのうち、市長申し立ては8件となっている。今後三豊市成年後見制度利用促進審議会を設置するための条例提案を行う。

国内外の友好都市について

**問** 具体的な交流事業、成果や効果を問う。

**答** 友好都市は、国内2都市、国外3都市である。予算額は、三豊市の訪問対応費約380万円、市内小学生相互派遣事業経費約430万円を計上している。地域間交流促進は地域活性化において重要であり、実際に触れ合うことが大切である。現時点でのデメリットは感じておらず、

市民への周知は広報紙やホームページで掲載している。

高齢者の交通事故対策について

**問** 高齢ドライバーに向けての支援策について問う。

**答** 市内の昨年度の事故のうち、65歳以上の事故は46・3%であった。高齢者自主返納の啓発活動や事故防止に努めたい。コミュニティバスや福祉タクシーだけでなく、他市町の取り組みを参考にしながら移動手段の整備を進めたい。

宝山湖周辺の整備について

**問** 観光資源として有効活用できるときの周辺整備について、考えを聞く。

**答** 宝山湖は水資源開発機構の施設であり、十分に注意を払って管理実施している。昨年は2万人を超える利用者があった。高台にある風光明媚な公園であるので、さらなる施設の有効活用が図れるよう取り組む。

財田里山  
ピオトー  
プも公民  
館活動や  
自然観察  
等に利用  
されている。



▲宝山湖

高木修 議員



高瀬駅に、全特急列車停車について

**問** 現在、予讃線には上り19本、下り18本の特急が走っているが、高瀬駅には上り6本、下り7本しか停車しない。本庁舎徒歩圏の中核駅だけに、全特急停車を願う。

**答** 停車数の差は、主に乗車人数の差から来ている。今後、本庁舎・駅周辺に魅力的なエリアを創出することで、店や人を呼び込みたい。



▲JR高瀬駅

市内へき地へ  
買い物カー導入について

**問** 現在、一部地域で移動販売が実現しているが、実施エリアを拡大し「買い物難民」の救済を

実現したい。

**答** 各種相談事業で、移動販売の要望・相談があれば、市民と事業者のパイプ役として取り組む。



タクシー呼び出しポスト(標柱)について

**問** 山間部等でも呼び出しやすい目印として、系統的に番号を付けた標柱を設置したら便利と考える。独居老人対策にもなる。

**答** 現在、福祉タクシー事業対象者アンケートの集計分析中であり、その結果を踏まえ、タクシー呼び出しポストについても検討材料に加える。

「独居老人見回り隊」活動の組織化について

**問** 現在、自主的に一部の地域で取り組まれている「独居老人見回り隊」活動を、全市レベルに拡大・組織化できないか。

**答** 既に、平成24年度から活動の拡大に取り組んでおり、11団体が活動を開始している。

水本真奈美 議員



## 防災減災対策について

**問** 災害時要援護者の登録人数と障がい者の割合と要援護者制度の活用について。

**答** 6月1日現在927人で障がい者は132人で対象障がい者の3.4%に当たる。災害時に実効性のある制度となるよう周知ならびに整備に努める。

**問** オストメイト専用トイレとストーマ装具の備蓄について。

**答** オストメイト専用トイレは避難所75カ所中3カ所のみ設置となっており、オストメイトの方には受け入れ可能な福祉避難所への2次避難を検討する。ストーマ装具は多種につき預かり備蓄を障がい者の方と協議の上、前向きに検討する。

**問** 自治体のタイムラインに即応する自主防災組織などのコミュニケーションタイムライン作成の考えは。

※タイムライン…災害発生を予測し「いつ」「誰が」「何を」するか時系列で行う防災行動計画のこと。



▲豪雨災害

**答** 災害対応についてコミュニケーションの力（共助）を活かすことが期待されている。行政と自主防災組織が連携し、取り組み「コミュニケーションタイムライン」を研究していく。

**問** 避難所リーダー養成について。

**答** 県主催の研修会に自主防災組織のメンバーが参加しているが、災害時には被災することも考え、自主防災組織化の推進とさらなるリーダー育成に努める。

**問** 女性の視点を活かした防災ブックを作成し、防災啓発・備蓄推進の考えを伺う。

**答** 31年度に総合防災マップの更新に併せて、暮らしの防災ブックを作成し、研修会等で配布し、防災啓発の取り組みを検討していく。



## 子育て世帯の負担軽減のためのインフルエンザ予防接種の助成を！

**問** 多子世帯やひとり親世帯の負担軽減のため、接種助成の考えを伺う。

**答** 三豊・観音寺市医師会、関係機関や国の動向を踏まえ、検討していく。

込山文吉 議員



## 三豊市総合戦略の現状について

**問** まち・ひと・しごと創生総合戦略の現状をどう分析し、30年度事業へどう反映されるのかを聞く。

**答** 地域再生計画認定を受けながら総合戦略に基づく各種事業を計画・実行し、効果検証を行ってきた。今後、より具体的に実効性かつ効果の見込める事業に、積極的に国や県に働きかけ、費用対効果を踏まえた上で活用を検討していく。

## スポーツ振興について

**問** スポーツ少年団の拡充、活動の活発化を図る上で、学校と行政との関わりは必要不可欠なものである。学校、行政はどのようなサポートをしているのかを聞く。

**答** 活動補助や運営等の事務局を行う他、指導者研修として認定員養成講習会を開催、昨年18人の指導者が参加している。講習会に定期的に参加することにより、技術取得、講習が可能となっている。

## 改正バリアフリー法について

**問** 改定で求められたマスタープラン策定と、三豊市まちづくりにおけるガイドライン、バリアフリー施策を進める対応を聞く。

**答** 今年度策定する第2次総合計画で、バリアフリーの社会の推進を施策として掲げながら、まちづくりに取り組む。

おりのクラブに進んでいるのか状況を聞く。

**答** 少年団の多くは、小学校卒業と同時に卒団式が行われるが、昨年も11団体49人がその後中学生になっても、団に所属し活動を続けている。生徒の減少から中学校単独での部活動には限界が近い。接続可能な運用体制を整える取り組みを探っていく。地域クラブ等の連携を進め、子どもの才能の芽を摘まない環境づくりを進めていきたい。



▲点字ブロックに間違うグレーチング



▲関係事業者主催の住宅リフォーム助成制度説明会

岩田 秀樹 議員



「住宅リフォーム助成制度」

8月31日まで申し込み受付実施へ

**問** 住環境の整備と地域経済の活性化を目的として開始された。

議会事務事業評価にて、対象事業に選定「拡充」となった。補正予算対応されたが、事業開始など周知の遅れにどう対応するのか。

**答** 補正予算の承認後、速やかに住宅リフォーム事業募集の広報を開始。申請者や工事業者の混乱を招かないよう、昨年と同じ内容にし、8月31日までにリフォーム工事の見積書を添えた事前申し込み書を受付。事前申し込みが100件を超えた場合は抽選となる。

「部落差別解消推進法」の附帯決議で「個人や地域を特定した調査はしない」

**問** 「部落差別解消推進法」は、「附帯決議」も可決され運用にあたり、法律と一体のものとして理解が必要だ。

文科省は、「本法及び附帯決議について十分に了知されるとともに、本法及び附帯決議を踏まえた適切な対応についてご留意」願うという通知を都道府県教育委員会に行った。法務省は、過去10年間に実施した同和問題について調査の有無などを照会している。

「部落解放同盟」は、「被差別部落の生活実態」の調査を政府に求めている。

提案者はこの法案のもとで、旧同和地区を特定した上で、その中の個人の個人などを特定した上での調査は、全く行う予定はないと答弁している。これらを踏まえ、実態調査の実施をどう考えているのか。

**答** 市として、本法律の目的をしつかり認識し、部落差別の解消に関する施策の実施に資するための部落差別の実態に係る調査については、附帯決議の内容を踏まえ、国の動向を注視し、新たな差別を生むことがないよう、その内容、手法等に十分に配慮し、三豊市人権擁護審議委員会の意見を伺い適切に対応する必要がある。

三木 秀樹 議員



市長が県議時代に提出した

「早期憲法改正」求めた意見書の本意を聞く

**問** 国政を私物化し、国民に真実を知らせず、憲法(99条)で明記された「憲法を尊重し擁護」しない安倍政権に対し、市長は県議時代の平成26年に「早期に憲法改正を求め」る意見書の賛同者として、国に提出している。その本意は、安倍晋三首相と同様の見解か。

**答** 安倍政権の見解の云々でなく、国民自らが判断できる、国民生活に即した憲法のあり方を国民全体で議論する時期にあると認識し、それを踏まえ国民投票の実現を要望したものだ。

**問** その意見書には「戦後七十年情勢の激変、特に、東アジア情勢は一刻の猶予も許されない時代に直面している、この新たな情勢にふさわしい憲法に改める。早期の憲法改正を」と求めている。

そして、意見書提出の2年前には、自民党は憲法改正案を作成し、「9条2項を削除して、国防軍を創る」と明記している。安倍晋三首相の憲法改正に向け、世論づくりに使われる「東アジアの緊急性」は、その意

見書の趣旨と同じであり、首相の「危機が襲っているから憲法改正しなくてはならない」と同意見の見解ではないのか。

憲法改正の議論の本質は、「明文憲法」か「解釈憲法」にするかだ(市長)

**答** 憲法改正の議論だが、国防の解釈でも、外敵から守る部分と国民の安全を守る意味合いが「国防」にある。議員と意見の相違があるかもしれないが、それぞれ解釈の違ひである。憲法を明文憲法にするか、解釈憲法にするか。この点の改正議論をまずは、やるべきだと強く思っている。

**問** また議論しませんか。任期4年と時間がありませんから。

その他の質問

- 補正予算の基準について
- 非正規職員の処遇改善等について
- 施政方針から市長の戦略について



▲平和でのどかな風景

## 総務常任委員会

6月19日開催の総務常任委員会には、4議案が付託され審査した。

### 主な質疑と答弁

#### 30年度一般会計補正予算関係部分

**問** 父母ヶ浜の観光における地元経済への波及効果について、現状認識と将来見通しをどう考えているのか。

**答** 来場者アンケート調査の結果では、宿泊された129人中18人が市内で宿泊しており、一定程度の効果は出ていると見ている。また、同時に市内周遊に発展する動きも出ている。



▲インスタ映えで賑わう仁尾町の父母ヶ浜

**問** 日本薬用機能性推進機構との具体的な接触、協議は進んでいるのか。  
**答** 担当部局において協議をしている。

る。まずは推進機構に入り、栽培に関する技術、知見などの情報を収集し、三豊市での可能性を探りたい。

**問** Aーサマースクールは、より専門的な内容になるのか。また、継続的な実施を考えているのか。

**答** 松尾研究室から講師を迎え、高校生以上を対象に、初歩からのカリキュラムを考えている。

**問** 企業立地候補地の調査事業について、どのような取り組みとスケジュールを考えているのか。

**答** まずは机上により候補地の調査を行う。\*オーダーマイド方式で企業と協議を行い、企業立地の確実性が確認できた段階で公表、地元協議を行いたい。

\*オーダーマイド方式…相手から注文を受けて用地を確保すること。

### 災害対策本部条例の一部改正について

**問** この条例改正は、どのような場合を想定しているのか。

**答** 支所長職については、さまざまな経験を積むポジションとし、本年4月の人事異動において、地元出身ではない支所長も配置している。そのため、当面の災害対策に支障を来さないよう、支所長以外の者でも支所災害対策本部長とされるよう措置した。

## 市民建設常任委員会

6月20日開催の市民建設常任委員会には8議案が付託され審査した。

### 主な質疑と答弁

#### 30年度一般会計補正予算関係部分 市民環境部関係

**問** 火葬場の解体工事の3,500万円の補正だが、解体費総額はいくらか。

**答** 高瀬火葬場の解体工事費の総額は、補正額の3,500万円である。

#### 建設経済部関係

**問** 農業振興費に計上している、事業委託費の内容、目的と中身を詳しく教えてほしい。

**答** 事業委託費は、総務省の外部専門家組織の派遣制度を利用し、地域活性化の取り組みに関する知見やノウハウを有する外部専門家を招き、三豊市の農産物に付加価値をつける取り組みを計画している。

**問** 当初予算は骨格予算で、補正である程度肉付けと、当初発表があった。この補正を見て、現場として、十分今からいけるとい判断か。期待していたのは、インフラ整備で、修理修繕の必要箇所は多く見られる。今回の内容は、補正と言っより、当初から組んでおくべきものと見受

けられる。これで皆さんの要望に答えられるような予算との評価になるのか。

**答** 建設港湾課関係で、すべての現地を見て、判断し予算要求をしており、今回は肉付けということで、予算要求を行った。補正予算後と29年度の当初予算を比較すると、道路事業、河川事業、インフラ関係だけで約8,500万円の増額。今回、舗装の新設もかなり実施し、全体の事業量としては昨年以上となっている。

#### 工事請負契約の締結について

**問** 契約の請負率についてどうなっているのか。

**答** 請負率は97・56%となっている。



▲解体が予定されている高瀬火葬場

教育民生常任委員会

6月21日開催の教育民生常任委員会には、5議案が付託され審査した。

主な質疑と答弁

30年度一般会計補正予算関係部分

**問** 詫間保育所駐車場の拡張工事3,604万円等において、進入路の安全性および職員の駐車場は確保されるのか。

**答** 園庭と同じ高さに送迎用駐車場27台分を設け、職員駐車場14台も確保し、駐車場不足は解消される。

**問** 教育総務費のうち備品購入費9,945万円の内訳は。

**答** ほぼ学校ICT関係予算である。主として校務用ノートパソコン200台、3,240万円、静脈認証センサーマウス575個1,106万円、MSオフィス2016アカデミック575台分1,086万円等である。

**問** 中学生の海外派遣補助金40万円は、昨年中止された経緯があるが、本年度復活となったのか。また将来的に事業拡充の考えはあるのか。

**答** 昨年度は補助金がなかったが、負担が大きいためから中学生1人2万円の20人分を予算計上。本年度は米国・韓国を計画中で、生徒の負担軽減を目的に、今後も参加しやすい

環境づくりを考えていきたい。

**問** 保健体育費の委託料73万円の「夢の教室」の事業内容について。

**答** 日本サッカー協会が実施するもので、トップアスリートを招き、講演や実技等を通して、子どもたちに夢を持つことの大切さを伝えるというカリキュラム。小・中学校各1クラスで実施の予定である。

後期高齢者医療に関する条例の一部改正について

**問** 後期高齢者医療保険の「住所地特例」の適用者の人数について。

**答** 現在、該当者はいないが、今後1〜3年で後期高齢者医療の特例適用者が出てくる見込みである。



▲中学生の海外派遣事業

三豊市合併12年の検証と今後の財政の見通し

今年も議員主催の研修会を開催します。市民の皆さまも自由に参加できます！三豊市の今後について、一緒に考えませんか。

三豊市議会  
議員研修会  
入場料  
無料

- 講師 **小西 砂千夫** 氏 こにし さちお
- 日時 **10月2日(火)**  
13:30～16:00(予定)
- 場所 **三豊市役所**  
危機管理センター 301・302 会議室  
(三豊市高瀬町下勝間 2373 番地 1)
- 内容 三豊市が誕生して12年。  
財政面から本市の合併を検証していただき、  
今後の財政見通しについてもお話を伺います。
- 問い合わせ 議会事務局 ☎0875-73-3009



# 学校紹介

## 笠田高等学校

### 地域に根ざした学校

笠田高等学校は昭和3年に設立され、本年度、創立90周年を迎える専門高校です。農業科と家庭科をもつ高校としての特色を生かし、地域の人々から信頼される、地域に根ざした学校づくりを進めています。4学科10コースに分かれ、少

人数授業で専門知識・専門技術を学習することで、農業や家庭に関する専門的な知識や技術を身につけ、将来のスペシャリスト育成を目指すほか、実験・実習を多く取り入れることにより、自ら学習課題を設定しその解決に取り組む力を身につけた優秀な人材の育成も目指しています。

本校では、地域に開かれた学校づくりを進めており、笠高祭における農作物の即売、家庭クラブを中心とした老人ホームの訪問、「笠高ボランティアの日」と名付けた全校生徒による地域奉仕活動、地元幼稚園との交流、笠高新鮮市等、数多くの取り組みを行っています。



▲豊中幼稚園児とひまわりの種まき



▲笠田小学校の児童とおやつ作り

また笠田高校の農作物や加工品を地域の人々に知ってもらおうと、みとよ軽トラ市や道の駅たからだの里さいた、道の駅とよはま等でも実習販売を行い、多くのの人たちからご好評をいただいております。みなさんもぜひ一度お越し下さい。

### 三豊市のオススメスポット



#### ● 今月の表紙 【写真提供：岩田 隆】 三野町津島神社夏季大祭

子どもの神様・守り神として人気の津島神社。一年に2日間だけ橋が架けられ、子どもの健やかな成長を願い本殿へ参拝ができる夏季大祭が、今年も8月4日(土)、5日(日)に行われます。また、2日間だけ開かれる「津島ノ宮駅」は、鉄道ファンからも注目を集めています。ぜひ一度訪れてみて下さい。(石井)

### 編集後記

厳しい暑さの時期となりました。いかがお過ごしですか。

今年も、市民に開かれた議会を目指しての「議会報告会」を市内26カ所で開催しました。多数の方々に参加いただき、ご意見をいただきました。内容を今回と次回臨時号で報告させていただきます。

現在、「より開かれた議会を目指して」の取り組みを進めているところです。今後市民に親しまれ、



QRコードを読み取ると、市議会のホームページがご覧になれます

#### 議会広報委員会

- 委員長 市川 洋介
- 副委員長 石井 勢三
- 委員 岩田 秀樹
- 委員 湯山 文吉
- 委員 高木 新
- 委員 近藤 武

正しい暑さの時期となり、まだまだ暑い日が続くと思われませんが、お身体に気をつけて、この夏を乗り切ってください。(岩田)

